

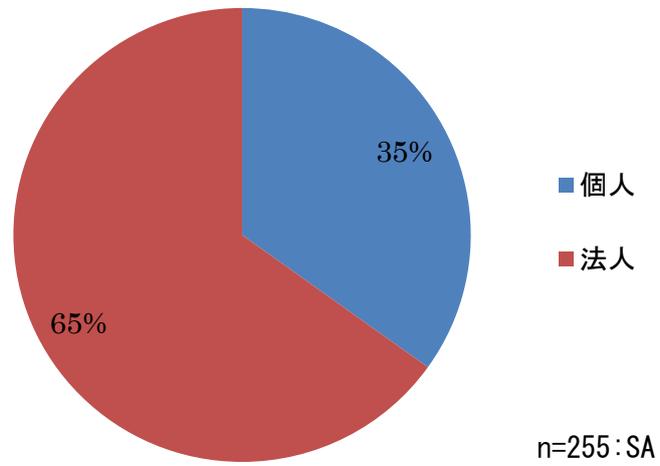
# 大津市地域産業振興基本条例の制定及び 大津市中小企業振興ビジョン策定に係る アンケート調査

## <調査概要>

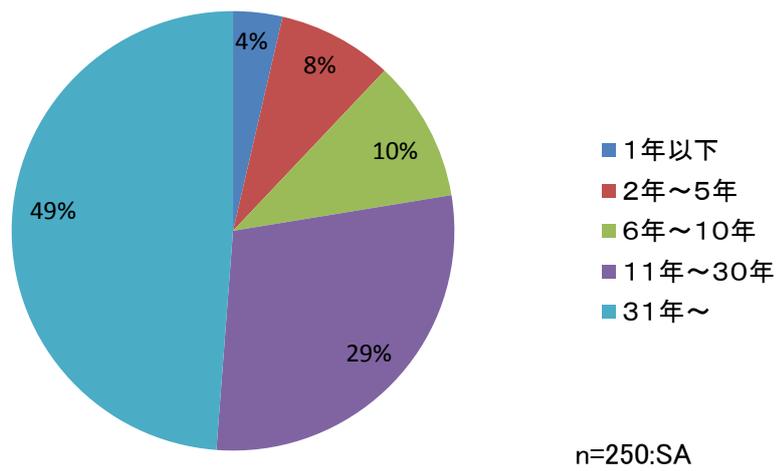
1. 調査目的 市内中小企業及び小規模事業者の事業実態等を調査し、大津市地域産業振興基本条例及び大津市中小企業振興ビジョン制定の基礎資料とする。
2. 調査期間 令和3年7月26日から同年8月13日まで
3. 調査方法 WEB、メール、郵送、配付
4. 調査対象者 市内中小企業1,300件
5. 回収件数 255件
6. 回収率 19.6%
7. グラフの見方について  
※有効回答数を「n」で表している。  
※単一回答の設問については「SA」、複数回答可の設問については「MA」で表している。

# I. 調査対象事業者の概要

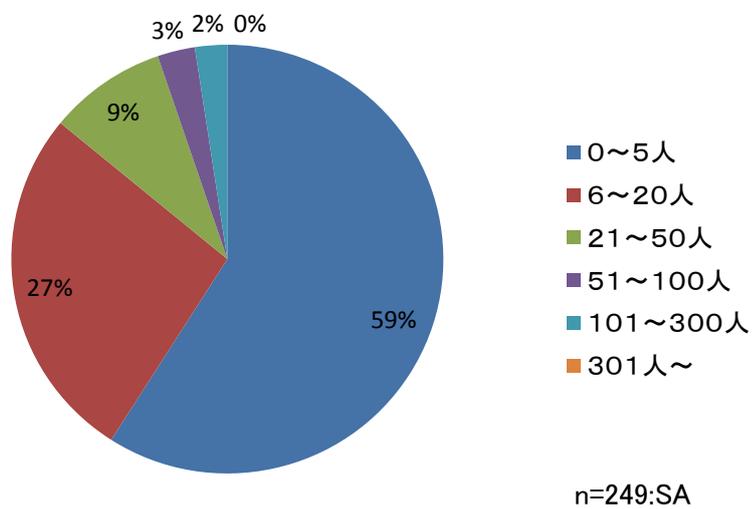
## 1. 経営形態



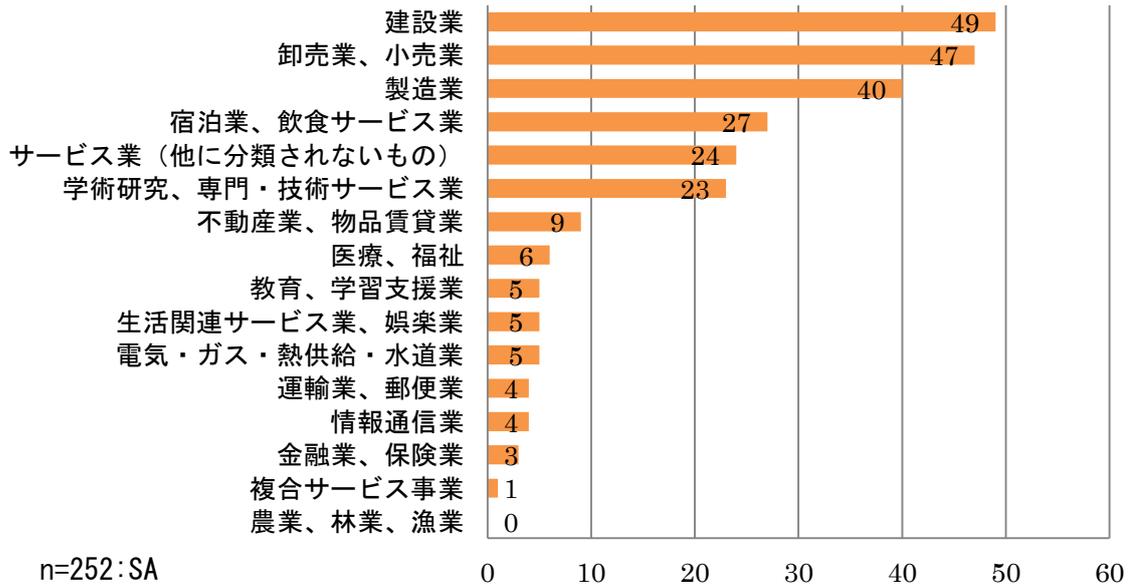
## 2. 市内での事業年数



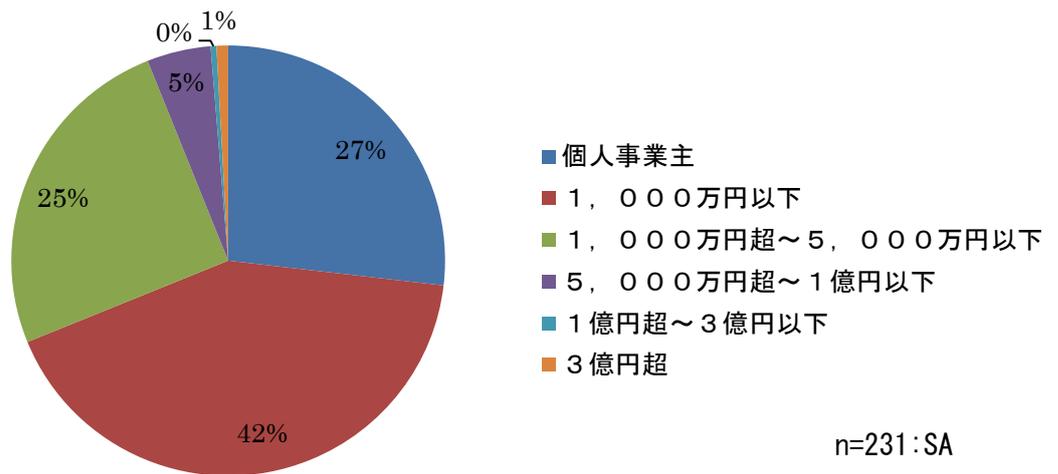
## 3. 常用従業員数



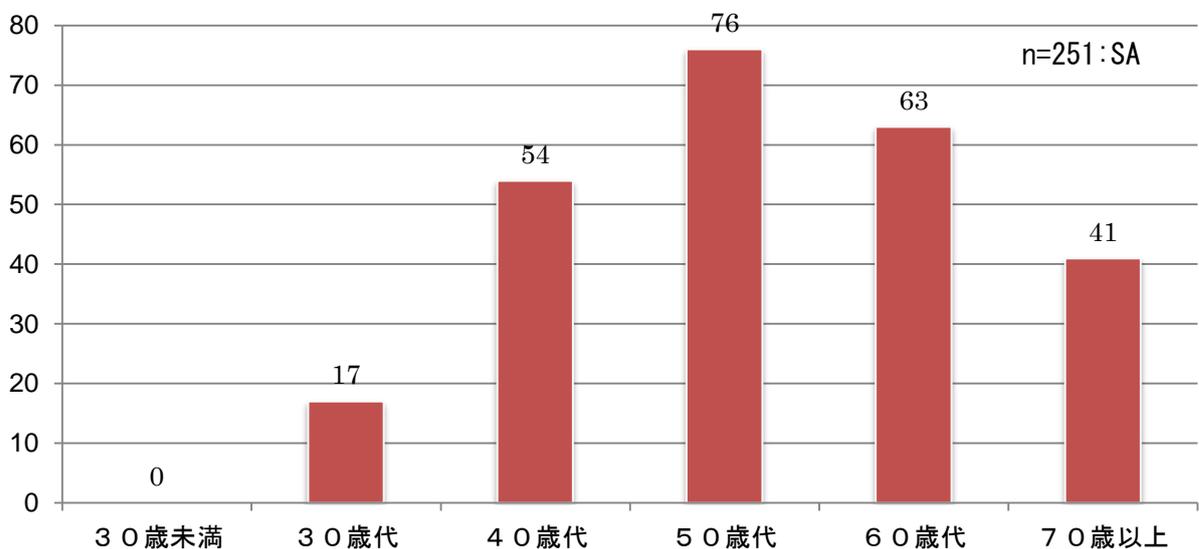
#### 4. 業種



#### 5. 資本金



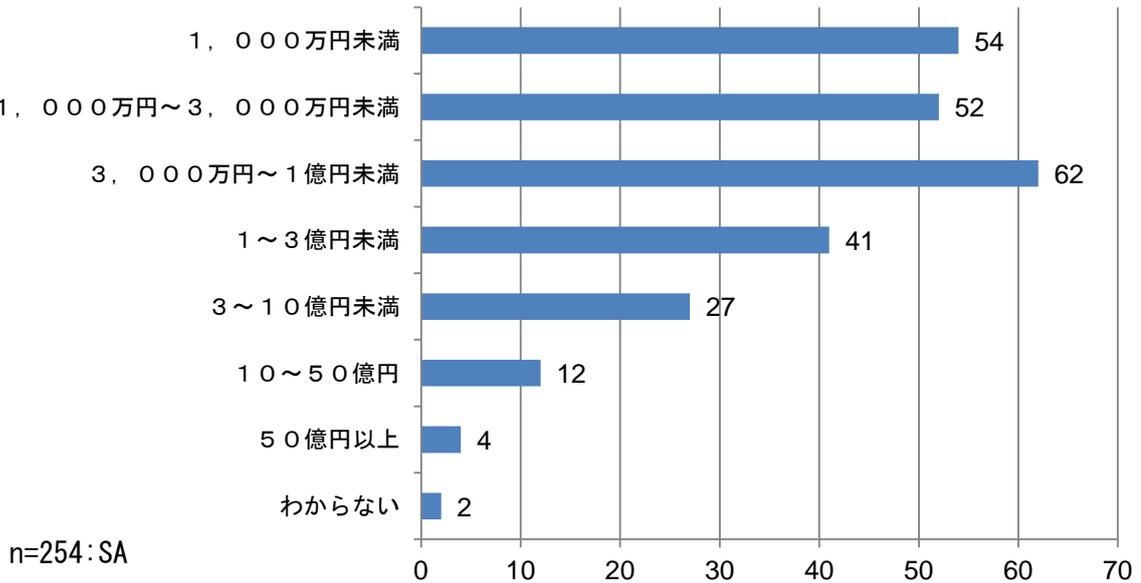
#### 6. 経営者の年代



## Ⅱ. 事業所アンケート

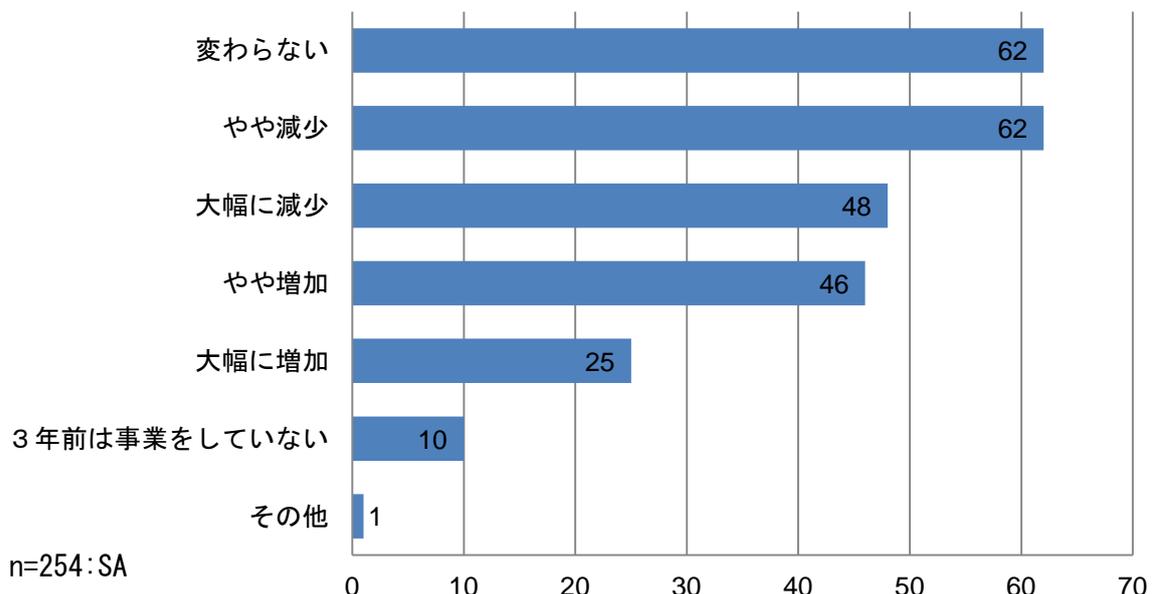
### 問1. 直近の年間売上について教えてください。

「3,000万円以上1億円未満」が最も多く、「1,000万円未満」がこれに続く。



### 問2. 3年前の売上高との比較について教えてください。

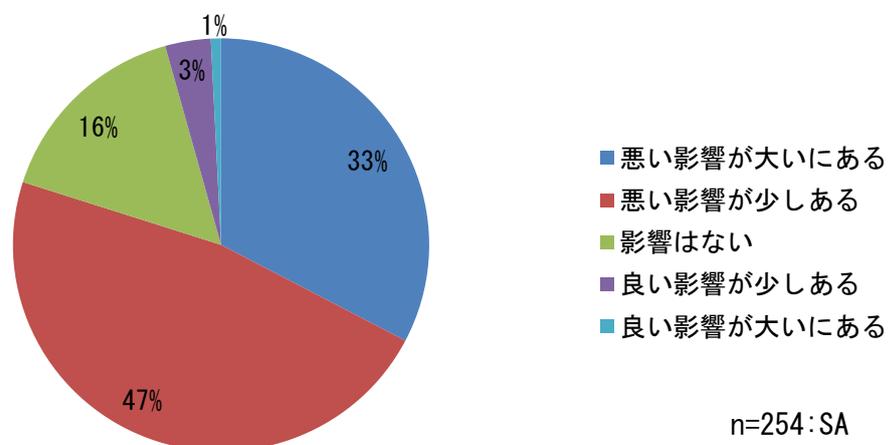
「変わらない」が最も多く、「大幅に減少」がこれに続く。全体の約30%は「やや増加」又は「大幅に増加」している。



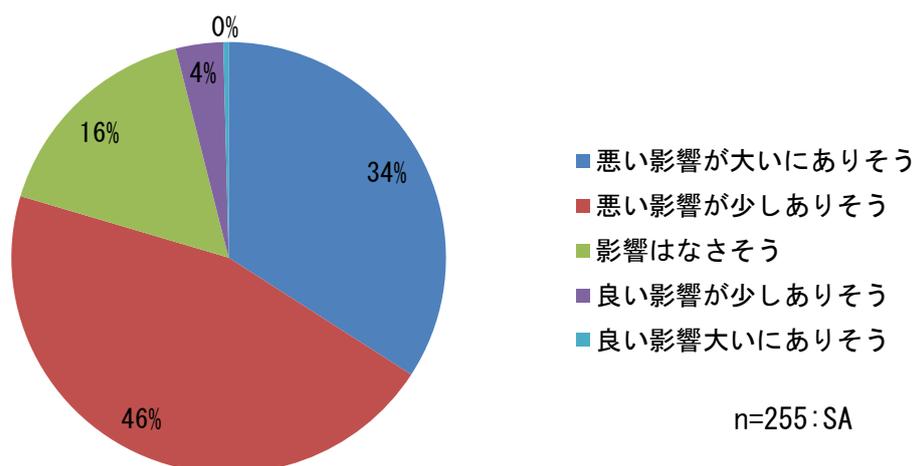
問3. 新型コロナウイルスの影響について教えてください。

現在、悪い影響がある事業者が全体の8割を占め、見込みとしても8割を占める。

【現在】

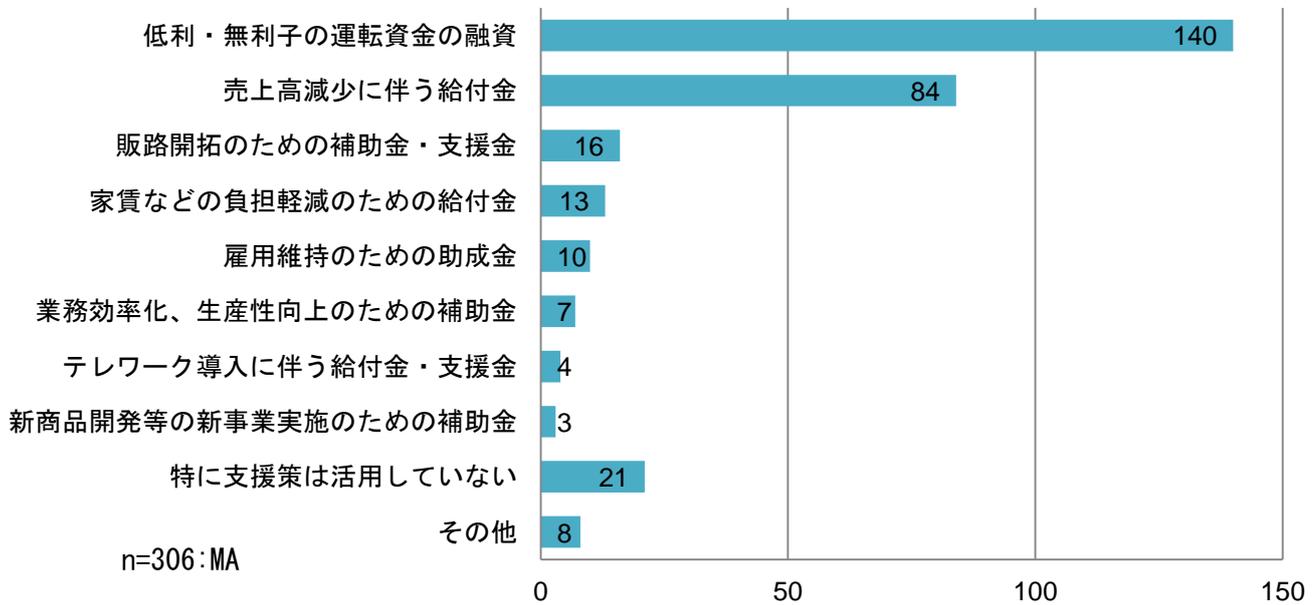


【見込み】



問4. 活用したコロナ対策の関連施策について教えてください。

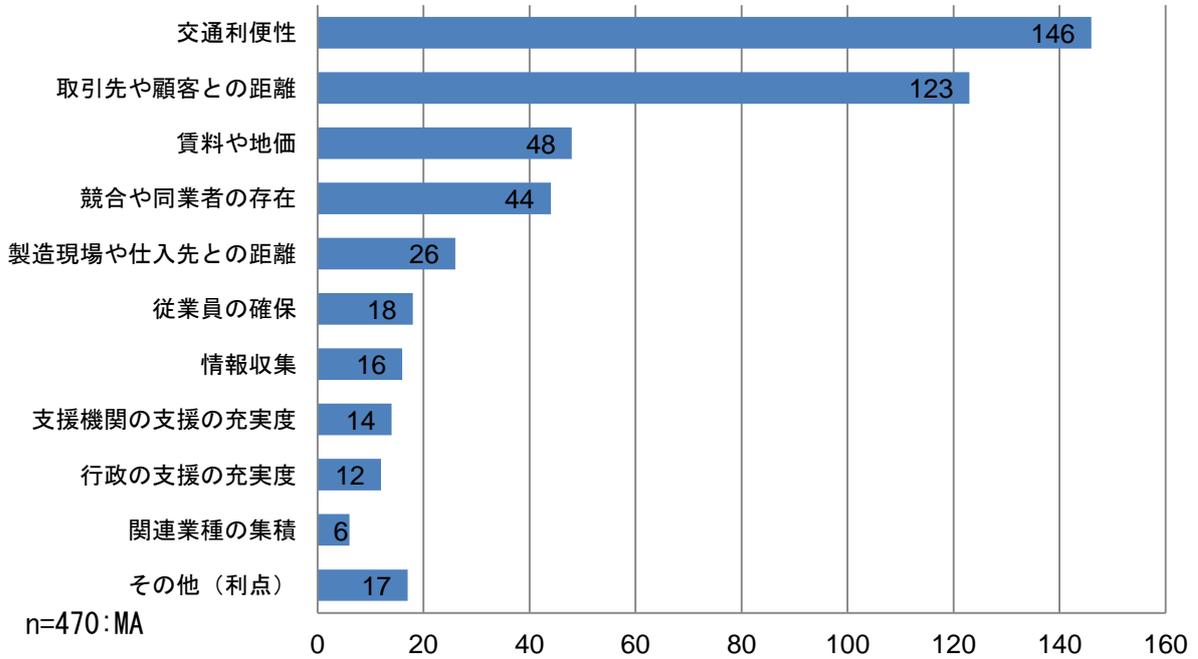
「低利・無利子の運転資金の融資」が最も多く、「売上高減少に伴う給付金」「販路開拓のための補助金・支援金」がこれに続く。



問5. 現在の場所での事業環境としての利点と課題（問題点）について教えてください。（最大3つ）

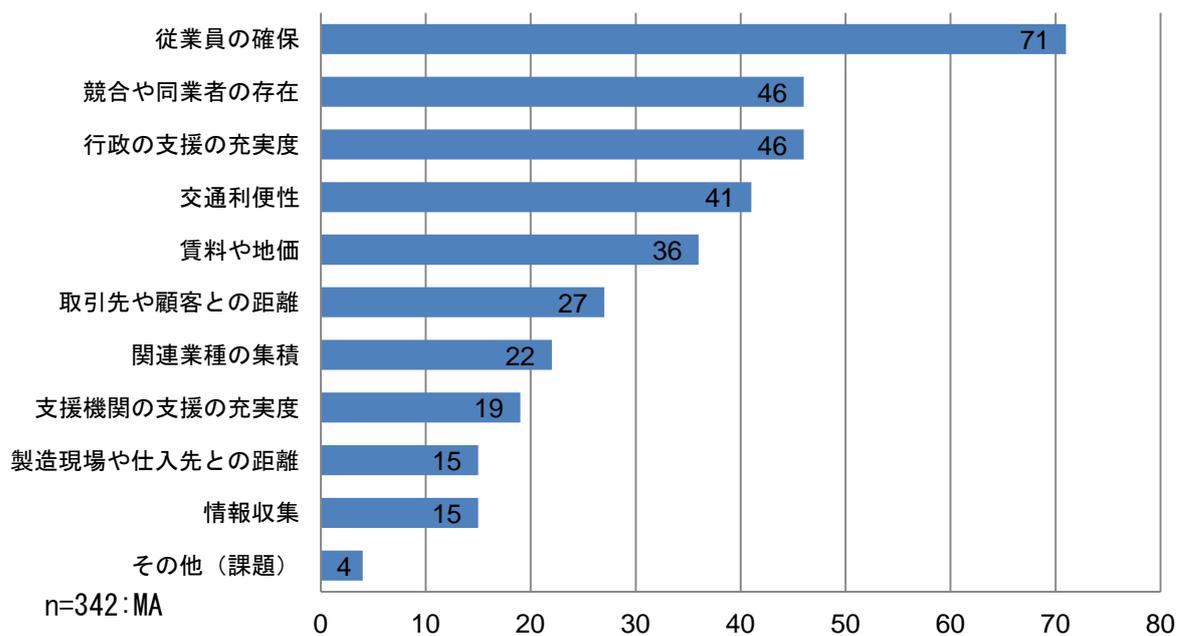
【利点】

「交通利便性」、「取引先や顧客との距離」が過半数以上を占める。



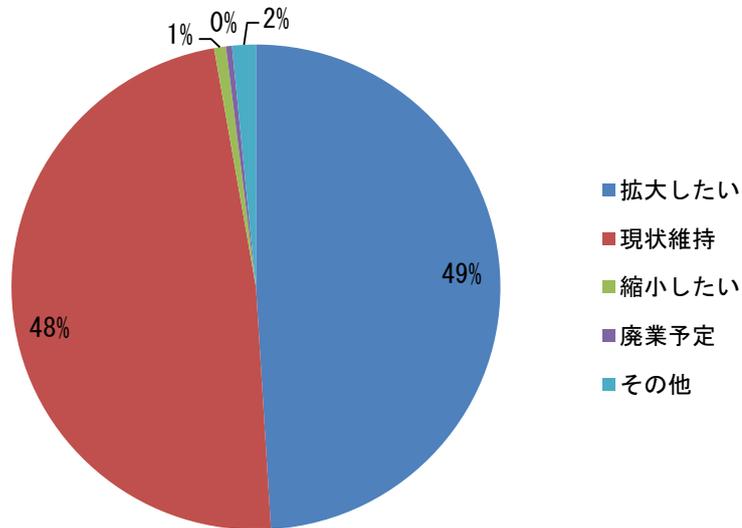
【課題】

「従業員の確保」が最も多く、「競合や同業社の存在」と「行政の支援の充実度」が次に多い。



問6. 事業規模の展望について教えてください。

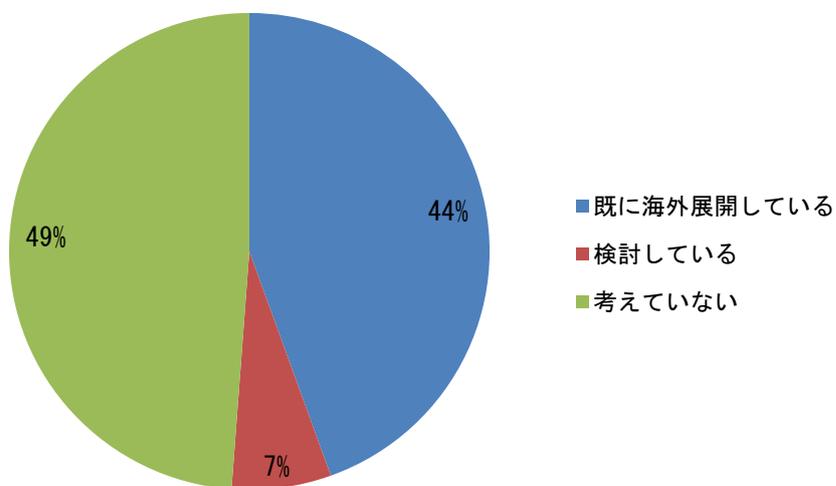
「拡大したい」と「現状維持」がおよそ半数ずつを占める。



n=255:SA

問7. 事業の海外展望について教えてください。

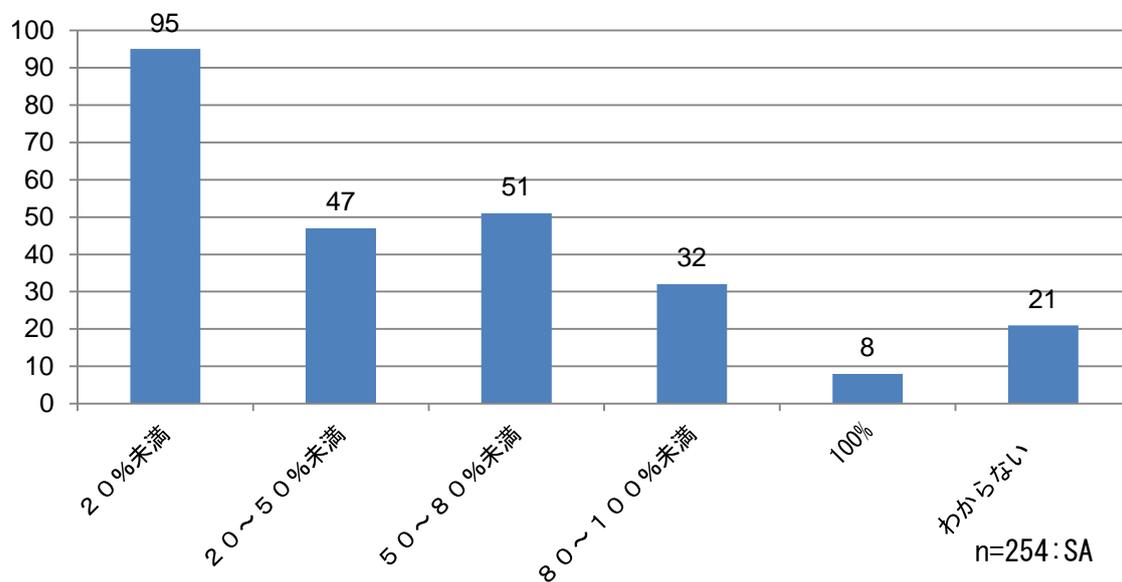
「考えていない」が最も多く、「既に海外展開している」が次に多い。



n=254:SA

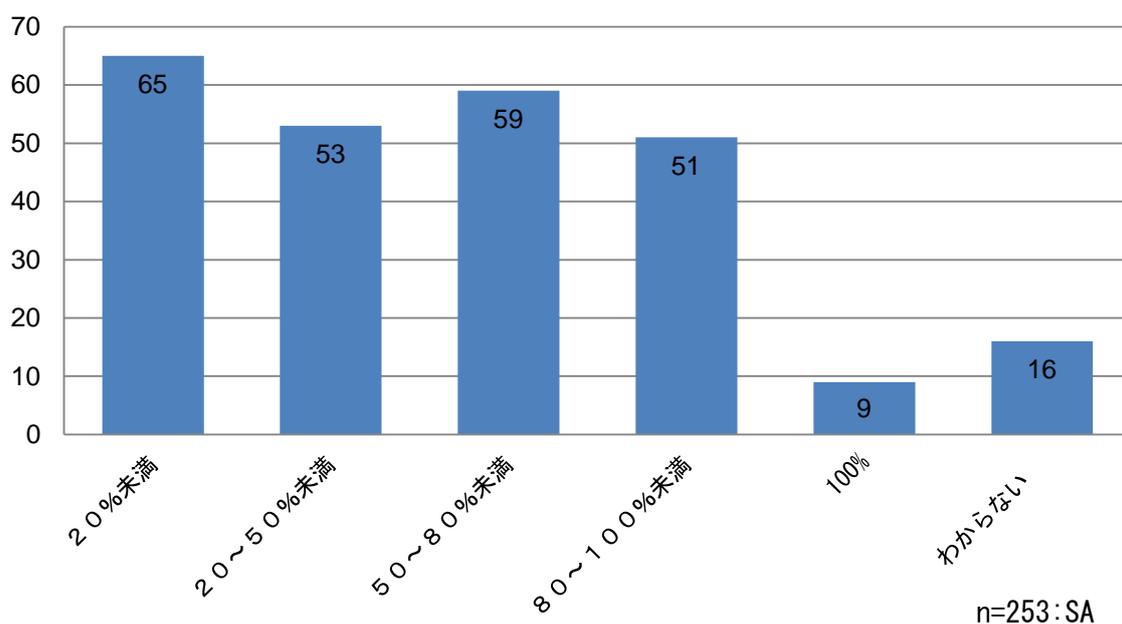
問8. 事業活動に必要な調達先や仕入先の大津市内の割合（金額ベース）について教えてください。

「20%未満」が多数を占め、50%未満は過半数以上である。



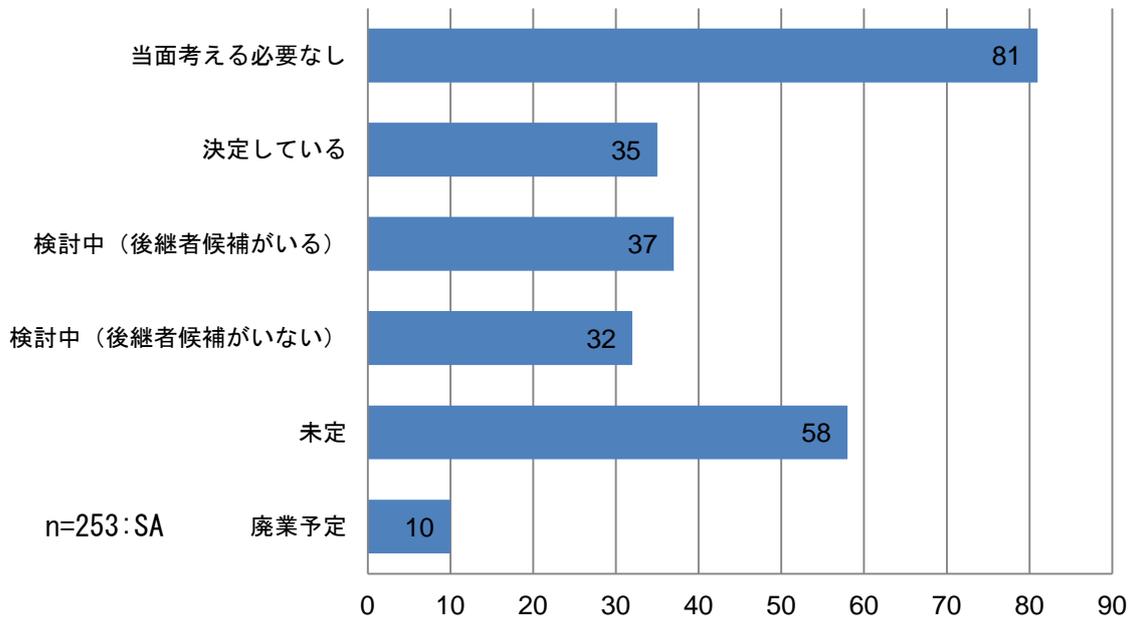
問9. 顧客や販売先の大津市内の割合（金額ベース）について教えてください。

「20%未満」が最も多く、「50%~80%未満」がこれに続く。



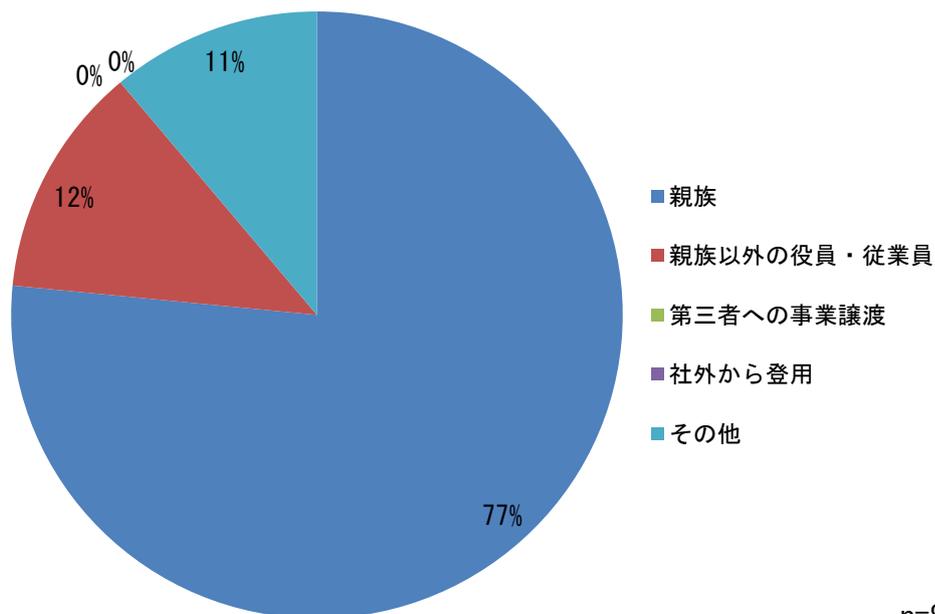
問10. 事業継承（後継者）について教えてください。

「当面考える必要なし」が最も多く、これに続き「未定」が次に多い。



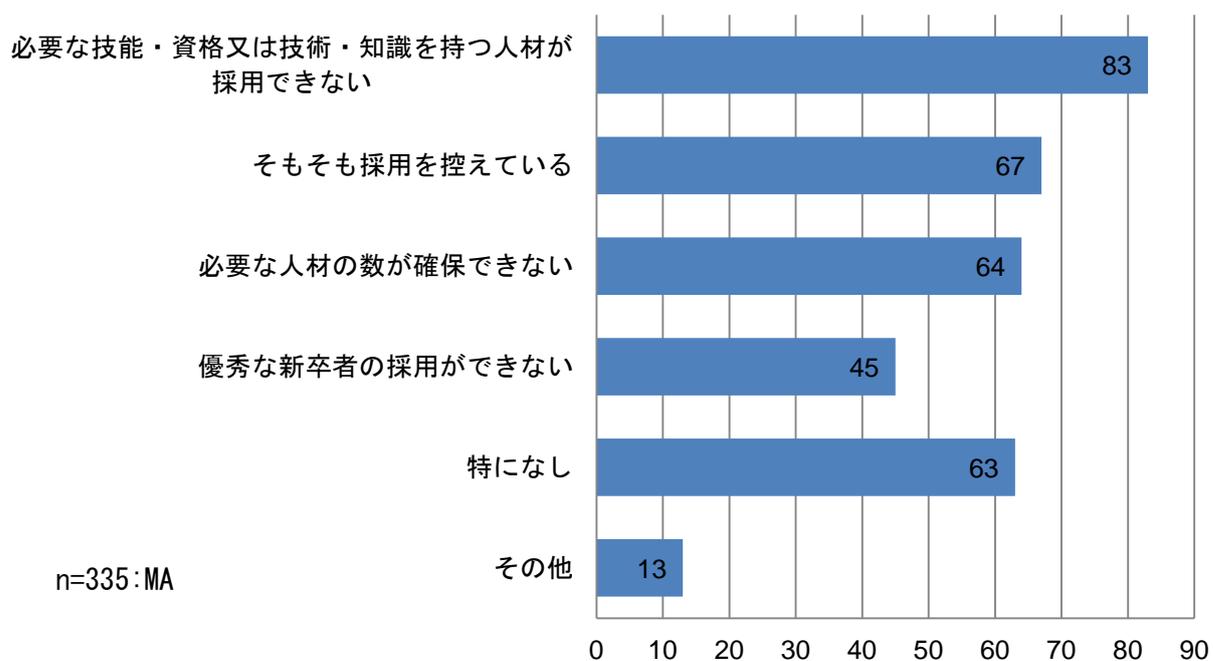
【後継者候補】

77%が親族内承継であり、親族以外は全体の約20%である。



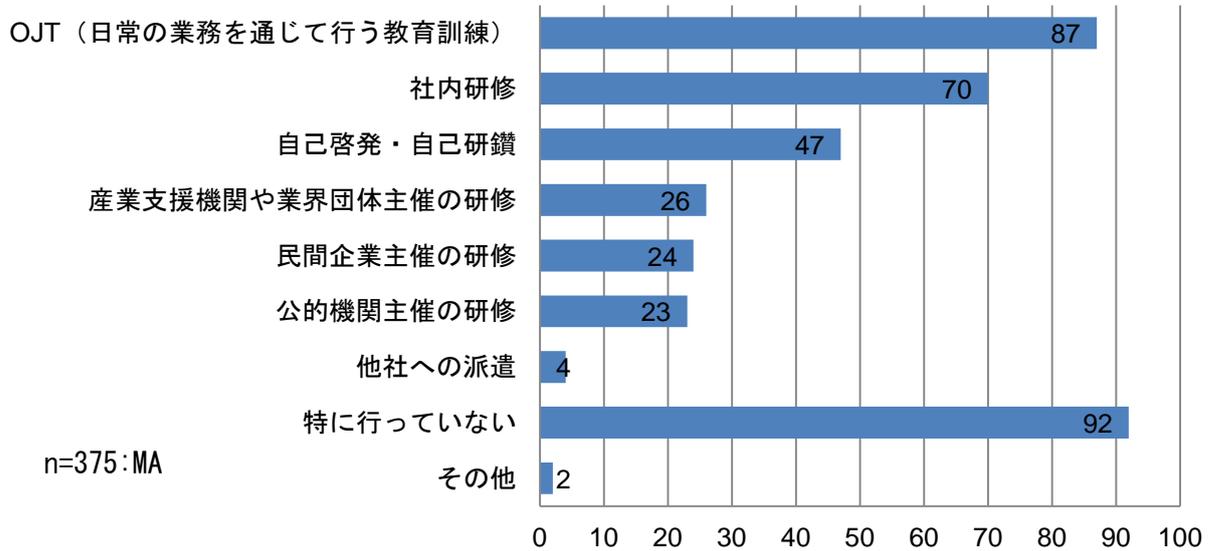
問 1 1. 従業員採用に関する課題について教えてください。(最大3つ)

「必要な技能・資格又は技術・知識を持つ人材が採用できない」が最も多く、「そもそも採用を控えている」が2割を占める。



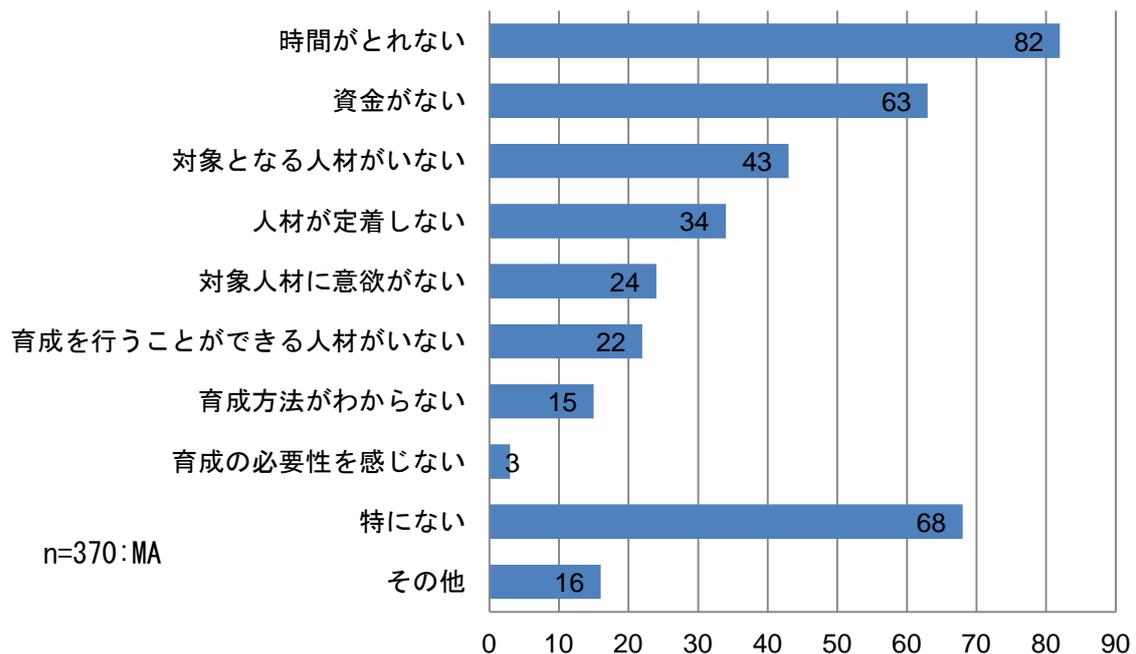
問 1 2. 人材育成のために実施している取り組みについて教えてください。(最大3つ)

「特に行っていない」が最も多く、「OJT（日常の業務を通じて行う教育訓練）」  
「社内研修」が次に多い。



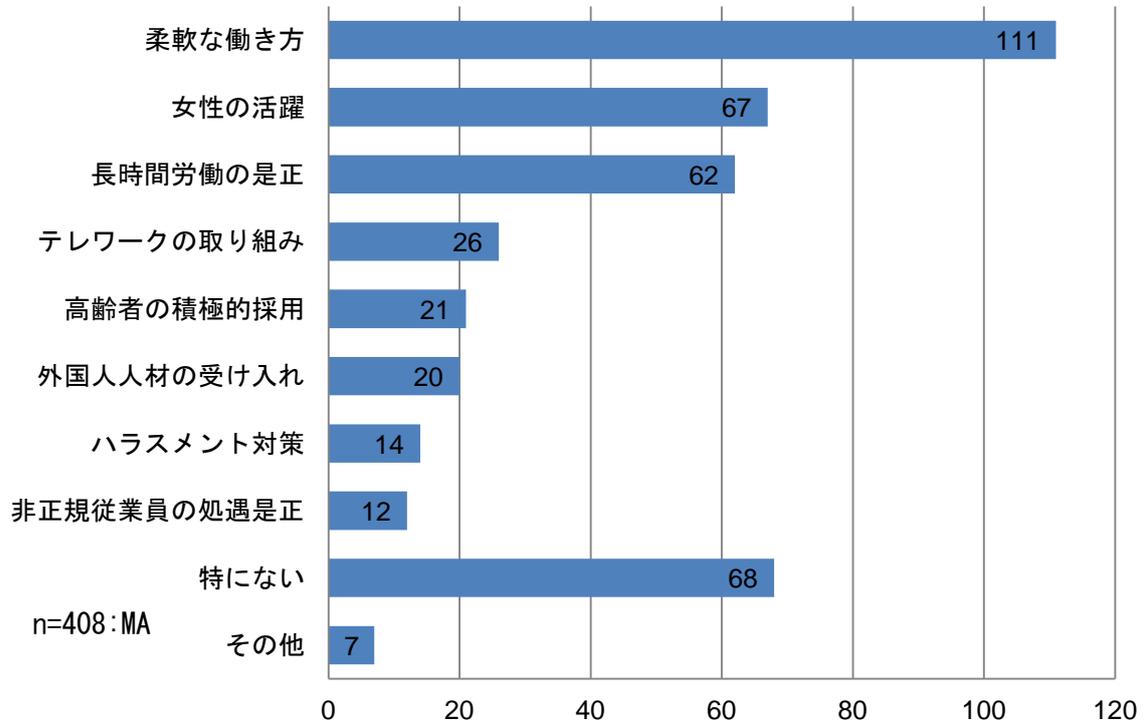
問 1 3. 人材育成上の課題について教えてください。(最大3つ)

「時間がとれない」「資金がない」が約4割を占める。



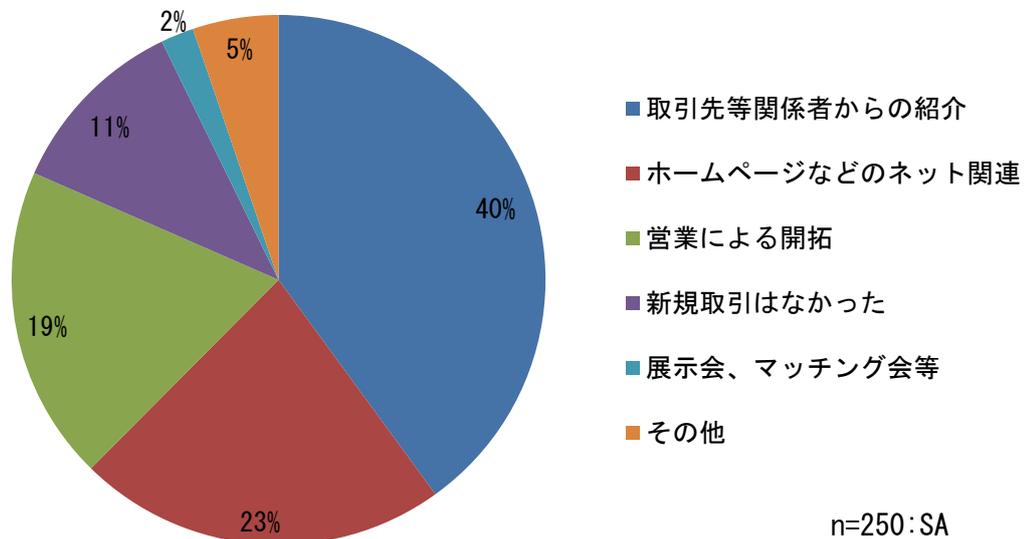
問14. 働き方改革で今後取り組みたいことについて教えてください。(最大3つ)

「柔軟な働き方」が最も多く、「テレワークの取り組み」がこれに続く。



問15. 過去3年間の新規取引先のきっかけについて教えてください。(最大3つ)

「取引先等関係者からの紹介」が最も多く、「ホームページなどのネット関連」と続く。

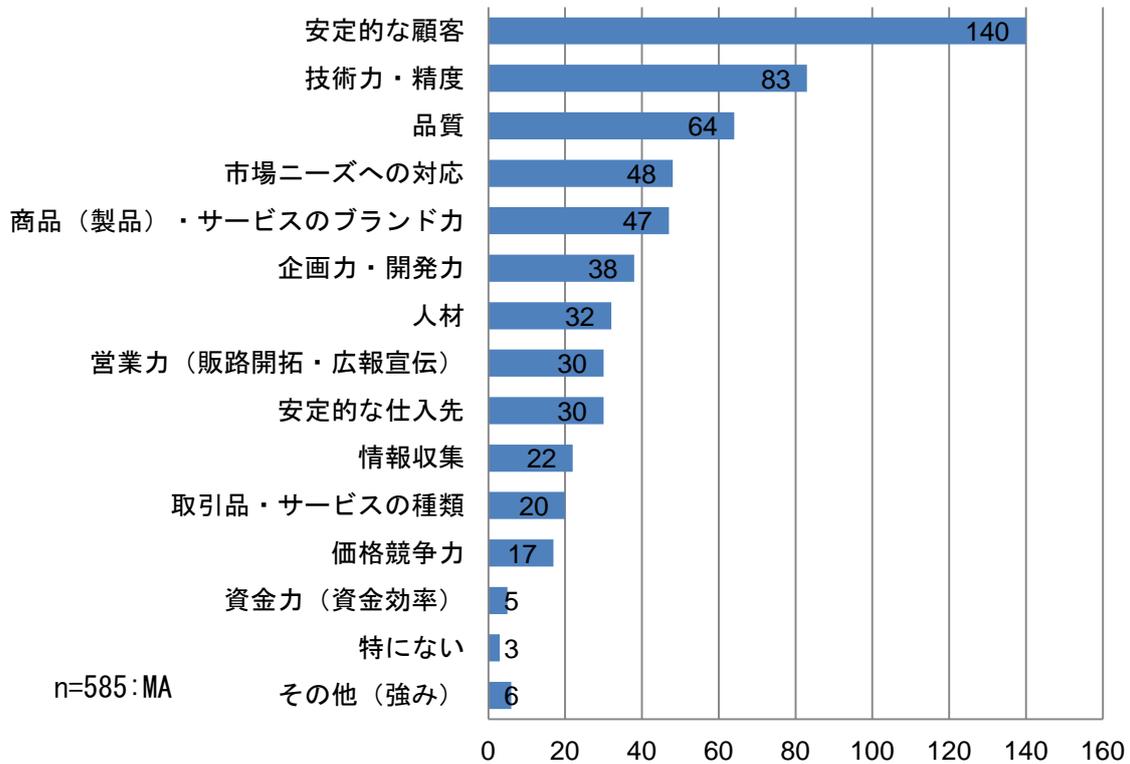


問16. 貴事業所の強み・弱みについて教えてください。(強み弱みそれぞれ最大3つ)

【強み】

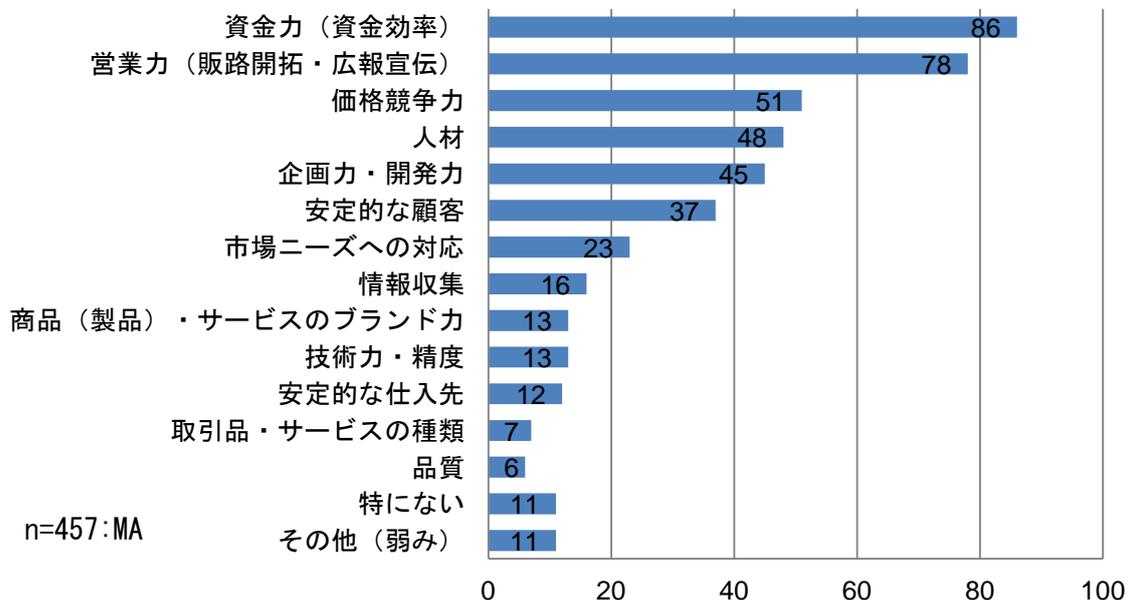
「安定的な顧客」が最も多く「技術力・精度」「品質」がこれに次ぐ。

「資金力（資金効率）」と回答した事業者は全体の約1%である。



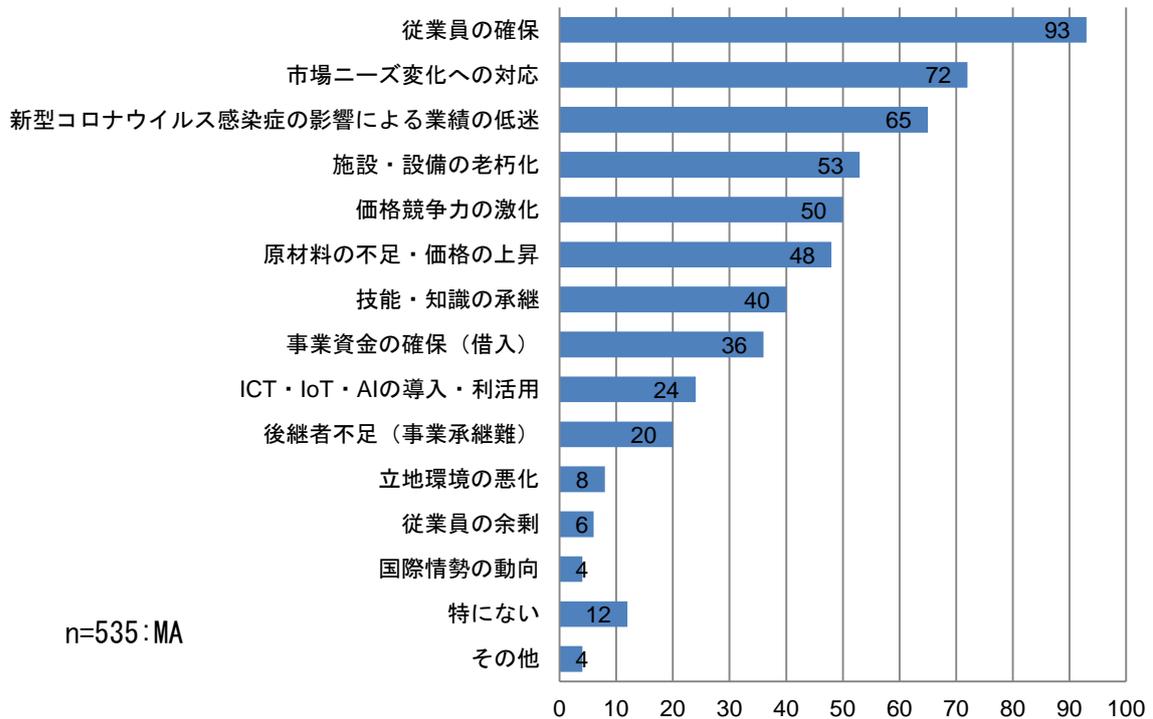
【弱み】

「資金力（資金効率）」が最も多く、「営業力（販路開拓・広報宣伝）」がこれに続く。



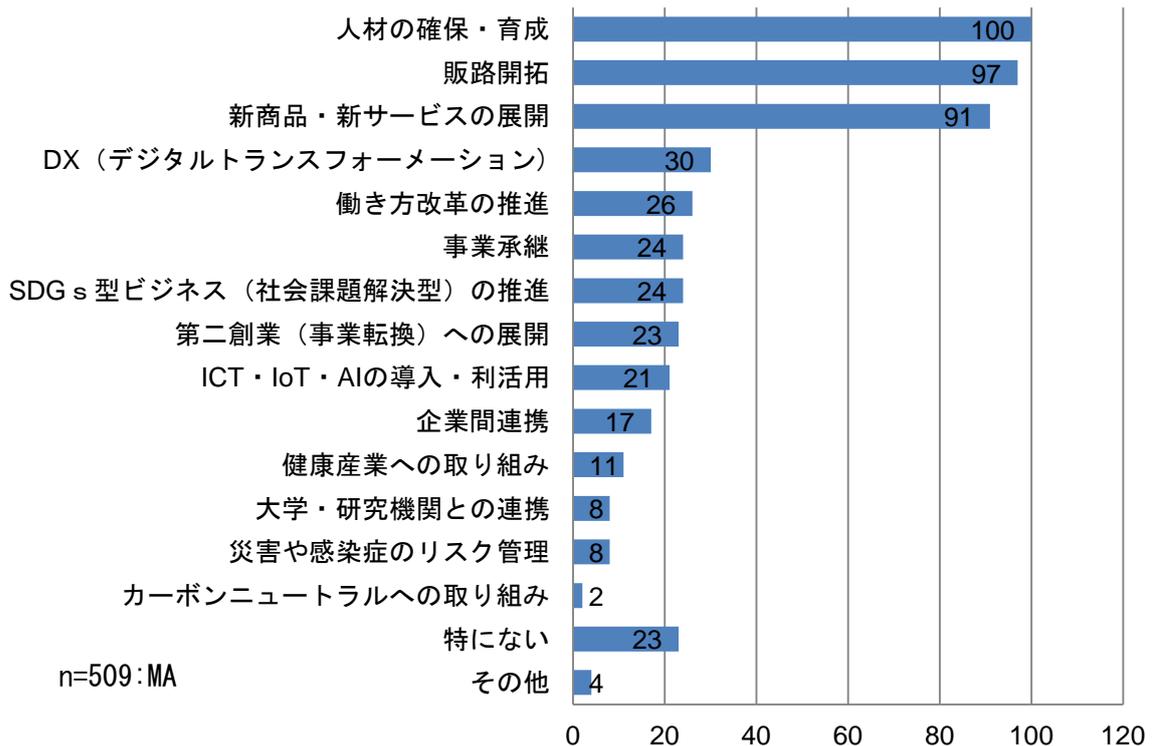
問17. 経営上の課題（問題）について教えてください。（最大3つ）

「従業員の確保」が最も多く、「市民ニーズ変化への対応」がこれに続く。



問18. 経営戦略上、今後、取り組みたい（力を入れていきたいこと）について教えてください。

「人材の確保・育成」「販路開拓」「新商品・新サービスの展開」が多数を占める。

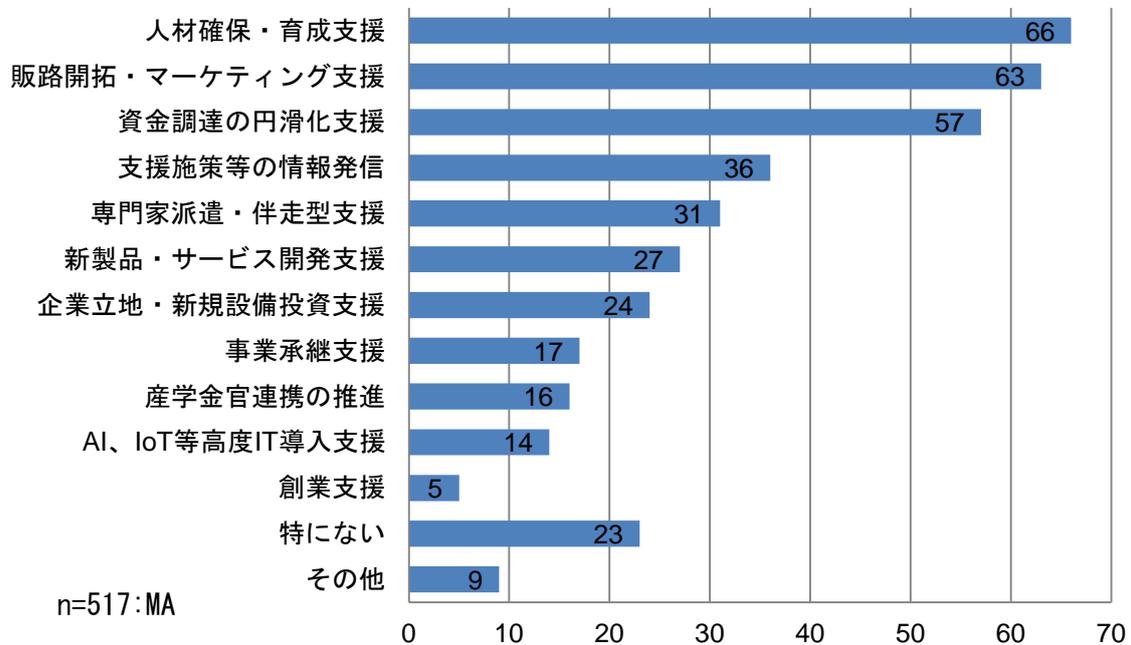


問19. 問18でお答えいただいたことについて、具体的にどのようなことに取り組みたいかご記入ください。(主な意見)

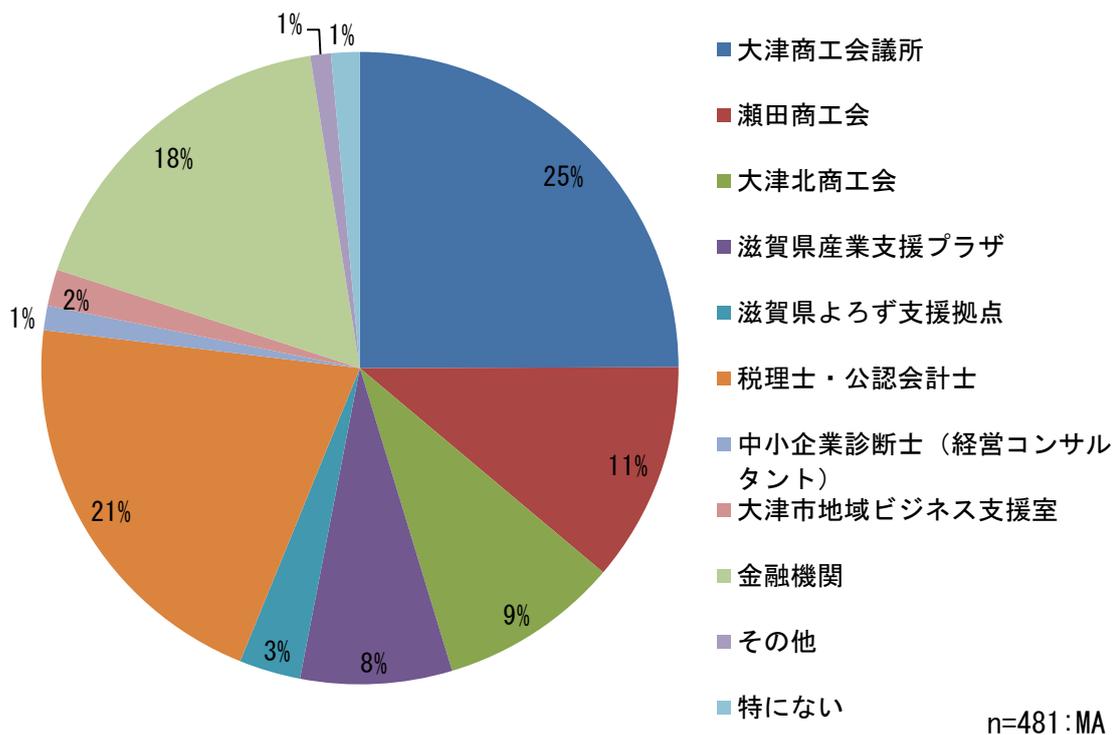
No	業種	
1	宿泊業、飲食サービス業	人材の育成については効果のある研修や社外研修等があれば参加させたい。また、事業継承者確保の取組みに力を入れたい。
2	宿泊業、飲食サービス業	地域に根差した公共性の高い事業活動を行う企業グループとして、琵琶湖の環境への配慮や、お客さま、従業員の安全・安心、DXを導入し、お客さまの利便性向上、業務の効率化を常に進化させていかなければならないと考えている。
3	建設業	会社は人によって成立しているので社員ひとりひとりのスキルUPが会社のUPに直結すると思います。なので、経営者が時代を見極め必要とされる技術は何なのかを考え、それを具体化出来る社員教員をしっかりと行いたいと思います。
4	製造業	既存事業の技術や経験をうまく活用し、関連した新たな市場で、新製品や新サービスを展開することで、新たな販路を開拓したい。また、そのための、設備の導入、人材の確保・育成に取り組みたい。
5	建設業	十分な人材を確保し、教育し、技能・知識身に着け生産性を向上させることで、企業全体が余裕を持って事業展開でき、さらには従業員の働き方改革にも繋げていけるよう取組みを検討し進めていきたいです。
6	製造業	新商品開発への取組み、SDGsを見据えた中現在高校生及び他の事業者とのコラボ商品の開発により話題性の有る魅力ある商品を作っていく。
7	建設業	建設業界において、技術職の若い世代の育成期間が長期間かかる事から、現場での各種技術職の有資格者の人数が少なく、日本人の強みである「ものづくり日本」の技術の低下に歯止めをかけ、伝統あるものづくりの技術をこれからの世代にも継承させていく為に貢献したい。 また、育成するにあたり国や地方自治体の支援や制度などがあると若者世代や女性にも建設業界への成り手が増えるのでお願いしたいです。
8	建設業	新標品新サービスを宣伝(CM)するのにホームページに動画を入れたりQRコードを作成し、年配の方若年の方により解りやすくスムーズに対応できる様に人材を確保して取り組みたいと思います。

問 2 0. 大津市に期待する支援や取り組みについて教えてください。(最大3つ)

「人材確保・育成支援」が最も多く、「販路開拓・マーケティング支援」「資金調達の円滑化支援」がこれに続く。



問 2 1. 相談等で関わりのある産業支援機関について教えてください。(最大3つ)



問22. 事業を展開するにあたって、大津市の良さや強みはどんなことだと思いますか。  
(主な意見)

No	業種	
1	宿泊業、飲食サービス業	世界的観光地である京都に隣接し、また、びわ湖に面し神社仏閣等の観光資源に恵まれていること。
2	製造業	歴史があり、安全で安定した生活環境があり、事業を行うにあたって周辺住民との関係構築が友好的に行える。比較的交通面のアクセスが便利で、距離の面での事業上のデメリットとなりにくい。県庁所在地であるため、主要な公的機関へのアクセスが便利、また、サービスを受けやすい。
3	卸売業、小売業	地価や人件費が都市部に比べて安いので、新規展開はしやすい。
4	建設業	大津市を含めて滋賀県全体に言えるが、近畿の中でもまだまだ発展する可能性があるので、地域の発展、活性化にこれからも力を入れてもらえると、今後も良くなる可能性があるところが良さや強みになると思います。
5	サービス業（他に分類されないもの）	人口が増加傾向にあり、市場開拓の余地がある
6	サービス業（他に分類されないもの）	地域資源が豊富にあること。 琵琶湖との距離が近く大都市に近い立地的条件。
7	宿泊業、飲食サービス業	北部の景観の良さ、京阪神の利便性、若いファミリー層の増加率
8	電気・ガス・熱供給・水道業	南地に広い
9	学術研究、専門・技術サービス業	交通の便が良い所にあるので人の流入が狙えると思います
10	製造業	立地が良い（滋賀県、近畿）
11	建設業	日本最大の湖があり、将来的にも人口増加が予想される
12	卸売業、小売業	和邇地区、木戸小松地区は人口もあり道路もよく仕事には大変良い環境と思っています
13	情報通信業	大津市の良さや強みは、大阪や京都のベッドタウンとして人口が増えています。物件が豊富にあるというのも人口が増加している理由なので事業を展開するにあたって良い方向に行くと思います。

問23. 事業を展開するにあたって、大津市の課題（問題点）や弱みはどんなことだと思いますか。（主な意見）

No	業種	
1	製造業	弊社もそうですが後継者問題がもっとこれから深刻になると思いますが仕事があるのに廃業する会社の数を少なくする為に大津市が会社訪問等して本音を話せるような取り組みをして頂きたいです。高齢の昭和生まれの経営者の方はプライドもあり自分から後継者問題を話す方が少ないように思います。コロナを境に身内以外の事業承継もこれから大事に思います。
2	運輸業、郵便業	知名度の低さ
3	製造業	コロナ前からと思うが、事業者との意見交換がほとんどないこと 情報提供もない
4	製造業	優秀な人材が地元企業に就職せず、他府県へ流出してしまい、若者の優秀な人材の確保が難しい。 理由として、歴史文化を活かした魅力ある街づくりがうまくできておらず、結果、町全体の活気がない。 周辺市街地もキーテナントを配置してなんとかしのいでいるが、周辺住民の高齢化が進んでいる就職先としての企業数はあるが、大津市は主にベッドタウンとしての位置づけであり、その地位も周辺市に奪われつつある。 そのため、若者は周辺市、他府県へ流出し、地元企業では若者の人材確保が難しい。 長い歴史のある企業や他に負けないようないい商品もあるが、市民自体がそれを認知しておらず当然に外部からの観光客へのアピールやEC活用も不得意で、魅力を十分に発信しきれていない。
5	サービス業（他に分類されないもの）	支援機関が多すぎる
6	卸売業、小売業	主たる産業が市内にない
7	卸売業、小売業	たくさんの会社、おもしろい技術がありますが連携の仕組み作りが何か足りないように思います
8	宿泊業、飲食サービス業	大津市の良さを市外、県外にアピールすることにもっと力を入れて欲しい

問24. (仮称) 大津市地域産業振興基本条例及び、(仮称) 大津市中小企業振興ビジョンについての意見をご記入ください。(自由記述) (主な意見)

No	業種	
1	製造業	滋賀県の会社の廃業率を下げる為に今から動いて頂きたいです。事業承継は時間が掛かりますので何とか次世代に技術や滋賀県内の会社をバトンタッチ出来るような取り組みをお願いします。
2	製造業	大津市の人口減少の局面を迎え、働く場の提供者としての重要な役割を製造事業者は果たしていると思っております。 特に製造業は、一度廃業すると再建が難しい業種でもあり、もっと積極的な支援策を講じるべきだと思います。 そのために、小さながら高付加価値でおもしろいモノを生み出す企業がいっぱい生まれる環境整備をしてほしい。 特に人材育成については、厚生労働省任せにせず、積極的に取り組みしてほしい。 大津市民は、地元愛が強いのか他府県からの流入した営業者に対して優しい印象がない。 他府県からの流入した営業者に対しての支援策ももっと講じるべきではないか。
3	学術研究、専門・技術サービス業	創業支援にもっと力を入れて、新しい事業がどんどん出てくるようにしていただきたいと考えます。 大津市を、どのようにブランディングをしていくのか、独自性を出していくことも大事ではないかと思えます。
4	サービス業 (他に分類されないもの)	大津の企業が元気になればと思います。このコロナ禍、企業活動において良い話が少なく、社会全体の活動がもっと明るく楽しくなりますようにと思っています。
5	学術研究、専門・技術サービス業	私にとって大津は非常に制作及び活動のしやすい町です。より関心を持って文化に接して頂き、この町から発信できる美術工芸品の知名度と販路の拡大のサポートを期待しています。
6	建設業	これからも大津市が安全で安心して住める街であり、大津市の産業が今まで以上に活性化されるようお願い申し上げます。

7	製造業	<p>現在大津市と企業とのつながりに距離を感じています。</p> <p>今後起業者が増えることも考えられ、もっと近い存在での伴走型サポートが必要と思われます。</p> <p>現行の企業もささいなことを気楽に（無料で）聞ける場所があればと思います。</p> <p>コンサルタントは自分の世界でしか答えられないし、現在、どのコンサルタントが自社に合っているのか、探すことが容易ではなく、各企業の事情を話すだけで、時間が経過してしまいます。いくらお話してもご理解いただけてないなと感じることもあります。（時間と経費を消費）</p> <p>コンサルタントと繋げる、専門のコーディネーターが必要かもしれません。</p> <p>コーディネーターは普段から各会員企業を訪問し、信頼関係の構築、現状把握、課題把握、適切なアドバイザーの登録の推進を常に仕事内容とし、適切なアドバイザーとつなげていただき伴走していただけると、更に良くなるのではと思います。時間、経費ロスを防ぎ、早く企業の目指すところへ…</p>
8	卸売業、小売業	<p>大津市は時代と共に移り変わり、商業の中心となる場所も随分と変化してきました。</p> <p>今、店舗を新しく展開する場所として考えると、市内では見当がつかない。</p> <p>産業振興として、営業力のある地域の創造が課題にあるように思います。商店街の再生と新規商業エリアを組み合わせ、若い力が動く魅力ある商業を感じる場所を構築して欲しいと望みます。</p>
9	不動産業、物品賃貸業	大津駅、膳所駅の商業施設
10	サービス業（他に分類されないもの）	滋賀県も同様の条例があると聞いている。同じようなものでは、意味がなく、市の特殊性がでるような内容にしてほしい
11	建設業	<p>振興基本条例は企業で例えると経営指針書になると思います。地域版経営指針書にするためにみんな（行政・商工団体・市民他）が作成に携わり創り上げることが大切だと思います。地域をみんなが経営することで、魅力ある街住みたい街となります。出来る限り多くの方々の意見を聞いて下さい。</p>
12	卸売業、小売業	もっともっと、中小企業への悩みを聞き協力して欲しい
13	学術研究、専門・技術サービス業	市の中小企業に対する支援は少なく思う。特にコロナになってそこを感じる。